

H o p !

1 学 年 通 信 No.23
令 和 4 年 3 月 1 日 (火)
学 年 チ ー フ 藤 松 繁 和
文 責 安 松 裕 子

通学路がきれいになりました！

2月24日（木）、環境委員会の取組である通学路クリーンアップ作戦を行いました。22日に持ち帰っていた火ばさみ・手袋・ビニール袋を手に、ゴミを拾いながら登校しました。学校に到着すると、環境委員の呼びかけに従って拾ってきたゴミを分別し、使った火ばさみを返却、手指を消毒して教室に上がりました。登校してくるみんなの顔には笑顔が溢れていました。みんなの地域の役に立ちたいという思いから、通学路がきれいになり、この日は吐く息も白く、手もかじかむような冷え込みでしたが、気持ちが暖かくなりました。1年生の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとう。



寒かったけど、頑張ってたっくさん拾ってきました！





頑張ってくれた環境委員のみなさん
みんなが登校してくるのを待ちます

みんなの感想



- ・いざクリーンアップをしてみると、ゴミがほとんどなかったのが、地域の方々がしてくれているんだと改めて思いました。だから、日頃の感謝の気持ちを込めて、地域の人だけに任せるのではなく、渡しも積極的に通学路をもっときれいにしようと意識してこの活動に取り組めたので良かったです。
- ・私は今回の活動で、タバコの吸い殻やビールの空き缶などが捨ててあり、道ばたにゴミを捨てる人がいるんだと思いました。私は今回の活動を通して、いっぱいゴミを拾えて良かったと思います。
- ・普段からゴミを他の人達が取ってくれているから宇美町はきれいなんだと思いました。今もそうですが、ゴミを道ばたに捨てない、当たり前なルールを守ることを継続していきたいです。
- ・私がいいつも通る通学路では、ゴミが1つも落ちていませんでした。「ゴミがなくきれいで良かった」で終わるのではなく、「何できれいな道が保たれているのか」を考えさせられました。地域の方々がきれいにする手間が省けるように、ゴミを見つけたら拾い、もちろん自分がポイ捨てをせず生活していきたいです。
- ・私の通学路にゴミは落ちていなくて、地域の方がゴミ拾いをしてきているのか、みんながポイ捨てをしないように心がけているのか、どちらにせよ、私たちが住み心地の良い環境をつくってくださっている人たちに、感謝の気持ちが改めて生まれました。
- ・見渡す限り、見える範囲のゴミを拾って、2人のビニール袋がパンパンになったから、自分の通学路はこんなに汚いんだ、と思った。これからも自分達だけでもゴミを落とさないようにして、通学路を少しでもきれいに保ちたい。この活動を通して、学校でも学習する環境はきれいにしておきたいから、積極的にゴミ拾いをする。
- ・家の隅っこにカンカンがあったり、道路にタバコが落ちていたりして、ポイ捨てる人が多いなと思いました。「休みの日とか、何もなかったらゴミを集めて宇美町をきれいにしようかな」と思いました。
- ・今回の通学路クリーンアップ作戦を通して、自分が住んでいる地域がどのくらいきれいにされ、それが保たれているかが分かりました。それに、そのきれいさは地域の方が自分の時間をさいてまでしてくださっていることに気づき、今度その様子を見かけたら、ちゃんとお礼を言おうと思います。